



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社 栗本鐵工所

上場取引所 東

コード番号 5602 URL <http://www.kurimoto.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福井 秀明

問合せ先責任者 (役職名) 総合企画室長 (氏名) 生越 勝弘

TEL 06-6538-7719

四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	76,154	5.7	4,191	△11.1	3,574	△16.7	3,539	△14.0
25年3月期第3四半期	72,026	3.1	4,713	58.7	4,291	80.8	4,116	171.6

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 5,484百万円 (24.4%) 25年3月期第3四半期 4,408百万円 (616.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	
26年3月期第3四半期	26.78	—	
25年3月期第3四半期	31.14	—	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	132,315		50,855			38.2
25年3月期	129,934		45,905			35.1

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 50,487百万円 25年3月期 45,586百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
26年3月期	—	2.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	99,000	0.8	4,500	△23.6	3,500	△36.7	3,000	3.5	22.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	133,984,908 株	25年3月期	133,984,908 株
26年3月期3Q	1,795,871 株	25年3月期	1,783,413 株
26年3月期3Q	132,195,224 株	25年3月期3Q	132,206,438 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や金融政策などを背景として、輸出関連企業を中心に景気回復の兆しが見られる一方で、円安による原材料価格の上昇や、新興国経済の減速による海外景気の下振れ懸念等により、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は化学装置部門において、大型工事物件の売上が減少しましたが、鉄管部門で補正予算編成に伴う発注が堅調であったこと、機械部門の鍛圧機の出荷が増加したこと、化成品部門で電力、農水向け製品の出荷が増加したことなどにより、売上高は前第3四半期連結累計期間比4,128百万円増収の76,154百万円となりました。

利益面では、「機械システム事業」における減収の影響などにより、営業利益は4,191百万円(前第3四半期連結累計期間比521百万円減益)、経常利益は3,574百万円(前第3四半期連結累計期間比716百万円減益)となりました。四半期純利益は、繰延税金資産の積み増しに伴う法人税等調整額の戻し入れがありましたが、「機械システム事業」の減収による減益がそれを上回り3,539百万円(前第3四半期連結累計期間比576百万円減益)となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

「パイプシステム事業」は、売上高につきましては、バルブ部門において、電力・鉄鋼分野や海外案件の売上が減少となりましたが、鉄管部門において、補正予算編成に伴う発注が堅調であったことなどにより、前第3四半期連結累計期間比2,800百万円増収の44,989百万円となりました。

営業利益につきましては、増収による増益などがありましたが、鉄スクラップ他、原材料価格の上昇などにより、前第3四半期連結累計期間比134百万円減益の2,998百万円の営業利益となりました。

「機械システム事業」は、売上高につきましては、機械部門で鍛圧機の出荷が増加しましたが、化学装置部門において、大型工事物件の売上が減少したことなどにより、前第3四半期連結累計期間比890百万円減収の16,033百万円となりました。

営業利益につきましては、減収による減益などにより、前第3四半期連結累計期間比333百万円減益の547百万円の営業利益となりました。

「産業建設資材事業」は、売上高につきましては、化成品部門において、電力、農水向け製品の出荷増、建材部門において、高速道路向け消音製品、土木製品の出荷増に加え、第2四半期連結会計期間より日本カイザー(株)を連結子会社化したことなどにより、前3四半期連結累計期間比2,217百万円増収の15,131百万円となりました。

営業利益につきましては、増収による増益などにより、前第3四半期連結累計期間比110百万円増益の541百万円の営業利益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金、仕掛品が減少した反面、受取手形及び売掛金、投資有価証券などの増加により、前連結会計年度末比2,380百万円増加の132,315百万円となりました。

一方、負債におきましては1年内返済予定の長期借入金が増加した反面、長期借入金などの減少により、前連結会計年度末比2,568百万円減少の81,459百万円となりました。

純資産におきましては、四半期純利益の計上、その他有価証券評価差額金などの増加により、前連結会計年度末比4,949百万円増加の50,855百万円となりました。

《キャッシュ・フローの状況》

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末より3,600百万円減少の15,489百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は986百万円となりました。これはたな卸資産の減少による資金の増加などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は1,815百万円となりました。これは主に有形及び無形固定資産の取得による支出などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は2,786百万円となりました。これは主に長期借入金の返済によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月10日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,111	15,511
受取手形及び売掛金	39,629	41,928
商品及び製品	9,034	9,957
仕掛品	6,877	5,817
原材料及び貯蔵品	2,269	2,324
その他	2,251	3,334
貸倒引当金	△98	△106
流動資産合計	79,075	78,766
固定資産		
有形固定資産		
土地	19,870	19,870
その他(純額)	16,387	16,426
有形固定資産合計	36,257	36,297
無形固定資産		
その他	196	575
無形固定資産合計	196	575
投資その他の資産		
投資有価証券	11,408	14,185
その他	3,486	3,110
貸倒引当金	△491	△620
投資その他の資産合計	14,403	16,675
固定資産合計	50,858	53,548
資産合計	129,934	132,315

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,835	28,426
短期借入金	26,562	26,699
1年内返済予定の長期借入金	2,626	13,291
未払法人税等	561	140
引当金	2,127	1,030
その他	5,789	6,553
流動負債合計	66,503	76,141
固定負債		
長期借入金	13,271	265
退職給付引当金	3,299	3,401
その他の引当金	7	—
その他	947	1,651
固定負債合計	17,524	5,318
負債合計	84,028	81,459
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,186	31,186
資本剰余金	6,959	6,959
利益剰余金	6,530	9,541
自己株式	△388	△391
株主資本合計	44,288	47,295
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,298	3,191
その他の包括利益累計額合計	1,298	3,191
少数株主持分	319	368
純資産合計	45,905	50,855
負債純資産合計	129,934	132,315

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	72,026	76,154
売上原価	53,758	57,673
売上総利益	18,267	18,481
販売費及び一般管理費	13,554	14,289
営業利益	4,713	4,191
営業外収益		
受取配当金	105	133
その他	306	285
営業外収益合計	412	418
営業外費用		
支払利息	418	374
その他	415	660
営業外費用合計	834	1,034
経常利益	4,291	3,574
特別利益		
投資有価証券売却益	7	0
特別利益合計	7	0
特別損失		
投資有価証券売却損	0	—
減損損失	0	0
その他	0	—
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	4,297	3,574
法人税、住民税及び事業税	255	256
法人税等調整額	△98	△273
法人税等合計	156	△16
少数株主損益調整前四半期純利益	4,140	3,591
少数株主利益	24	51
四半期純利益	4,116	3,539

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,140	3,591
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	268	1,892
その他の包括利益合計	268	1,892
四半期包括利益	4,408	5,484
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,384	5,432
少数株主に係る四半期包括利益	24	51

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,297	3,574
減価償却費	1,638	1,652
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△123	136
受取利息及び受取配当金	△108	△159
支払利息	418	374
有形及び無形固定資産売却損益(△は益)	△0	△0
売上債権の増減額(△は増加)	2,482	△2,635
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,592	181
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,246	△664
退職給付引当金の増減額(△は減少)	71	102
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△6	△0
有形及び無形固定資産除却損	41	171
その他	△1,965	△957
小計	2,906	1,776
利息及び配当金の受取額	255	319
利息の支払額	△417	△377
法人税等の支払額	△327	△732
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,417	986
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	5	—
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△4	△4
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	24	1
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,267	△1,412
有形及び無形固定資産の売却による収入	1	10
有形固定資産の売却に係る手付金収入	—	570
有形固定資産の売却に伴う支出	—	△334
関係会社の減資による収入	79	—
関係会社株式の売却による収入	0	—
関係会社出資金の払込による支出	—	△120
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△500
貸付けによる支出	—	△100
貸付金の回収による収入	8	2
資産除去債務の履行による支出	—	△120
その他	△138	193
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,291	△1,815
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△105	137
リース債務の返済による支出	△41	△53
長期借入れによる収入	—	180
長期借入金の返済による支出	△2,517	△2,520
社債の償還による支出	△11	△11
自己株式の取得による支出	△2	△3
配当金の支払額	△512	△512
少数株主への配当金の支払額	△1	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,190	△2,786
現金及び現金同等物に係る換算差額	12	15
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,052	△3,600
現金及び現金同等物の期首残高	19,646	19,089
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,594	15,489

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パイプシス テム事業	機械シス テム事業	産業建設 資材事業			
売上高						
外部顧客への売上高	42,188	16,923	12,914	72,026	—	72,026
セグメント間の内部売上 高又は振替高	131	30	680	842	△842	—
計	42,320	16,953	13,594	72,868	△842	72,026
セグメント利益	3,133	881	431	4,445	267	4,713

(注) 1 セグメント利益の調整額267百万円には、セグメント間取引消去39百万円、各報告セグメントが負担する販売管理費、一般管理費、試験研究費の配分差額350百万円及びたな卸資産の調整額△122百万円が含まれています。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パイプシス テム事業	機械シス テム事業	産業建設 資材事業			
売上高						
外部顧客への売上高	44,989	16,033	15,131	76,154	—	76,154
セグメント間の内部売上 高又は振替高	216	—	1,367	1,584	△1,584	—
計	45,205	16,033	16,499	77,738	△1,584	76,154
セグメント利益	2,998	547	541	4,087	104	4,191

(注) 1 セグメント利益の調整額104百万円には、セグメント間取引消去29百万円、各報告セグメントが負担する販売間接費、一般管理費、試験研究費の配分差額273百万円及びたな卸資産の調整額△199百万円が含まれています。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。